

クラウドERP『Reforma PSA』が バージョンアップ！ システム内外の管理業務にかかる手間を軽減

株式会社オロ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：川田 篤、以下「オロ」）は、クラウドERP『Reforma PSA（レフォルマ ピーエスエー、以下「Reforma」）』のバージョンアップを2022年9月に実施いたしました。支払請求書未着時の仕入の仮計上機能や立替精算の承認者パターン追加による、Reforma の管理範囲拡充を通じて、2022年5月度のバージョンアップに引き続き、お客様のシステム内外の管理業務における手間削減を推進します。



■バージョンアップ実施の背景

Reforma では2019年11月より、ユーザー様からのご意見をもとに約2ヶ月に1回のペースで新機能の開発・実装を行ってまいりました。

より広くユーザー様の声を集めるべく2022年6月末に実施したユーザーアンケートや、既にReforma をご利用いただいているお客様とのお打ち合わせにて、

- ・ 「仕入予定日になっても支払請求書が届いていない仕入について、Reforma 上で仮計上扱いとして処理可能とし、締めや支払業務が滞ったり、事後修正が必要となったりするケースを減らしたい」
- ・ 「案件に紐づく立替経費の承認を当該案件の担当者が行うなど、より現状の業務実態に合わせた承認フローをReforma 上で実現したい」

など、Reforma をより手間なく使いつつ、活用範囲を広げたいとのご要望をいただきました。

そこで、「仕入登録時の請求書未着機能追加」「立替精算の承認者パターン追加」を行い、2022年9月末より順次ユーザー様への提供を開始しております。

■新しくできること・その効果

「仕入登録時の請求書未着機能追加」

仕入予定日に支払請求書が届いていなかったとしても、Reforma で仕入登録時に「仮計上」として処理できることで、締めや支払業務が滞ってしまうケースや、事後修正を行うケースを回避できます。

「立替精算の承認者パターン追加」

案件に紐づく立替精算の申請を、当該案件の担当者が承認可能となります。

これによりReforma 上で承認フローを完結させやすくなることで、Reforma 外での管理作業を減らし、管理業務の手間を削減します。

■今後の展開

クリエイティブ業に特化したクラウドERPであるReforma は累計350社以上に導入され、業務管理や案件管理に貢献してきました。

今後もユーザー様の声を元に継続して機能改善を行い、より多くの企業様における生産性向上に寄与してまいります。

■クラウドERP『Reforma PSA』のご紹介



広告・IT・WEB制作など業界特有の業務管理をお求めやすい価格でシステム化

Reforma PSAはクリエイティブ系ビジネスの商習慣にFITした案件管理システムです。業種特化型のシステムなので低価格で、漏れのない業務管理、正確な損益管理を実現。バックオフィスの業務効率化と同時にタイムリーな経営分析を支援します。

公式サイト：<https://www.oro.com/reforma-psa/>

Reforma 導入事例：<https://www.oro.com/reforma-psa/casestudy/>

<クラウドERP『Reforma PSA』に関するお問合せ>

株式会社オロ マーケティンググループ 大奥

TEL：03-5843-0653 / Mail：reformapsa@jp.oro.com

<報道に関するお問い合わせ先>

株式会社オロ 広報

TEL：03-5843-0836（直通） / Mail：info@jp.oro.com